

平成 23 年 11 月 18 日

中長期的な観点から見た 「地域経済における金融機能の向上」の検討

1. 検討の視点

- ◆ 地域においては、経済の低迷や少子高齢化が進む中、金融機関の預貸率が低下傾向を辿る一方で、着実な成長や海外進出を遂げる中堅・中小企業等も存在。

こうした中、金融機関は、顧客目線に立って、以下の課題に取り組む必要。

- 地域の中堅・中小企業の成長過程に応じて、長期のリスク性のある資金供給を含め、どのような金融機能を発揮していくか。
- 少子高齢化やグローバル化の進展に伴って高まる新たな資金やサービスへの需要に対して、どのように対応していくか。

2. ヒアリングに基づく現状評価

◆ 地域金融の現状

【需要サイド】

- 国内需要が低迷している中、中小企業の収益力・資本力は、創業時のみならず半ば恒常的に、ハイリスク・ローリターンである傾向が強い。特に地域では、経済の低迷が著しい中、都市部との経済格差も広がり、中小企業はより厳しい状況にある。
- その一方で、高い技術力を誇る中堅・中小企業が見られるほか、新たな資金需要（医療・高齢者介護、環境・バイオ、農業等）も出てきている。さらに、社会構造の変化（少子高齢化、人口減少、環境意識の高まり等）に対応した新たな街づくり（住み替え、インフラ再整備等）の必要性も生じてきている。こうした中、地域金融機関に対しては、資金供給に加え、より実践的・専門的な情報や助言が求められてきている。
- また、グローバル化等を背景に、海外に進出する中堅・中小企業も増えてきている。こうした中、地域金融機関に対しては、資金供給に加え、海外市場に関する情報や助言が求められてきている。
- 他方、個人金融サービス面では、高齢者が重要な顧客層に成長しつつある。

【供給サイド】

- 地域における地域金融機関による中小企業向け貸出は、近年、減少してきている。
 - ◇ また、中小企業向け貸出は、米国等と比べると、職員一人当たりの貸出先数が多く、また、借り手も複数先から融資を受けている状況（「薄利多売」の傾向）。

- ◇ なお、地域金融機関の貸出残高全体は増加傾向にあるものの、主に大企業・地方公共団体向け貸出や住宅ローンによるものであり、いずれも低利鞘に止まっている。
- 他方、地域金融機関においては、貸出増強による信用リスク・テイクよりも、国債等の投資による金利リスク・テイクによって、収益を拡大する傾向が見られる。
- ベンチャー・ファンドにおいては、近年、経済の低迷が続く中、早期の投資回収が求められ、創業あるいは創業直後といった初期段階での投融資が一段と低調になっている。また、投融資先の選定も、中長期的な成長性より、むしろ一時的な市場での評価に流され、特定業種に偏る傾向がある。
- 他方、政府系金融機関は、起業支援、金融危機・天災対応、海外進出支援等の面において、存在感を高めつつある。

◆ 地域において求められる金融サービス

- 地域の中小企業等に対するリスクマネーの供給
 - ◇ 創業時だけではなくその後も長く続く不安定期における中小企業向け投融資
 - ◇ 医療・高齢者介護や環境・バイオ等の新たな資金需要への投融資
 - ◇ 不動産担保や個人保証に依存しない融資（ABL 等）
- 海外を含め活動範囲を拡大させている中堅・中小企業のサポート
 - ◇ 実際のビジネス展開に直結する情報の提供や販路開拓支援（ビジネス・マッチング等）
 - ◇ 海外進出先における現地通貨の資金供給等
- 地域における社会構造の変化を踏まえた金融サービスの提供
 - ◇ 新たな街づくり（住み替えやインフラ再整備等）の支援
 - ◇ 高齢者等の様々な個人のニーズに応える個人金融サービス（資産運用、相続・財産管理等）

3. 論点（例）

（1）問題の所在

◆ 地域の企業にいかにリスクマネーを供給するか。

- 中小企業等が必要としている資金供給の在り方
 - ◇ いわゆる「根雪」融資やエクイティ性資金の供給者としての地域金融機関
 - ◇ 地域金融機関とベンチャー・ファンドや政府系金融機関との連携
 - ◇ 以上により、潤沢な預金を国債等の運用に回す受動的な資産運用からも脱却
- 担保資産の多様化
 - ◇ ABL 推進に向けた新しい担保資産の評価力の向上
 - ◇ 電子債権化に伴うビジネス・チャンスの活用

➤ コンサルティング機能の向上

- ◇ 様々な評価力(新しい担保資産の価値評価や、新たな資金需要をもつ医療・高齢者介護等の事業性評価等)の形成と蓄積
- ◇ 限られた経営資源のメリハリのある投入(得意分野作り)

◆ 地域における社会構造の変化にいかに対応するか。

➤ 地域経済の構造転換への対応

- ◇ 社会構造の変化に対応した新たな街づくりに対応した資金供給
- ◇ 経営不振企業の抜本的な事業再生支援や、後継者問題を抱える企業の問題解決

➤ 高齢者等の個人金融サービス需要の充足

- ◇ コンサルティング機能を個人に対しても発揮する必要性

◆ 地域経済の低迷が長期化する中、他地域や海外の活力をいかに取り込んでいくか。

(2) 地域金融機関の在り方の方向性

◆ 地域金融機関の取組み

➤ 顧客ニーズを踏まえた経営戦略の在り方

- ✓ 選択と集中に基づくビジネス・モデルの構築
 - 顧客ニーズへの新たな対応をビジネス・モデルの中で位置づけ、地域経済の発展や自らの収益力強化につなげる重要性
 - 地域産業の特性や、医療・高齢者介護等の新たな資金需要に対応した多様な投融資の有機的な組み合わせ
 - 預金者(高齢者等)のニーズに応じた個人金融サービスの提供
 - 多様化・高度化する地元の顧客ニーズに応えるための他地域との関わり方(他地域への相互乗り入れや広域連携等)

✓ 地元企業の海外進出をサポートするビジネスの展開

- 政府系金融機関を含めた他金融機関との連携や海外出店等

✓ 管理面の取組み

- 人材の育成
- 外部専門家の活用

➤ 顧客ニーズを踏まえた態勢作り(経営基盤の拡充強化)

✓ 積極的なリスク・テイクを行い得るような態勢の構築

- 金融仲介機能の十全な発揮のため、十分かつ適切な自己資本の確保
- リスクの特性に応じた柔軟かつ的確なリスク管理態勢の構築

- ✓ 営業基盤の拡充等を通じたリスクの分散や収益力の強化
 - 規模の経済の追求や、他地域との関わりの強化(地域 CLO の活用を含む。)
 - 中央機関との連携強化(信金・信組)等
- ✓ アウトソーシングの有効活用
 - 担保評価、コンサルティング業務、情報システム構築等のアウトソース
- ✓ グローバル化する地元企業に対応するための適切な基盤構築
 - 他金融機関と連携した海外展開等
- ✓ 経営管理(ガバナンス)機能の強化
 - 自律的な経営改善インセンティブや経営者リーダーシップの確保
 - 経営戦略や態勢整備における主導性の発揮
 - 適切な内部態勢の構築や外部からの規律付け

◆ 金融業界や当局・地方自治体の取組み

➤ 金融業界としての取組み

- ✓ リスクマネー供給に向けたファンドや政府系金融機関との戦略的な連携
- ✓ 地方自治体等との認識の共有や効率的な連携
- ✓ ノウハウの共有や研修
 - 投融資の新技术(DDS 等)や新しい担保資産の評価
 - コンサルティング活動のベスト・プラクティス
 - 人材育成の高度化

➤ 金融当局さらには政府としての取組み

- ✓ 地域金融機関による円滑なリスクマネー供給をサポートする金融当局の関与の在り方の検討
- ✓ 地域金融機関だけでは取りきれないリスクについて、政府系金融機関による民業補完機能の発揮等

以 上